

邑久高校

平成 24 年度(2012-13)

# 学び合いうまくいった事例集



邑久高校学び合い研究部

2013年3月編集

## 地歴・公民 学び合い共有シート

### 【2年次日本史での取組:小松原先生】

#### ◆工夫点①

- ・教科書準拠の穴埋めプリントを配付。「わからないところは、隣近所で聞いて、全員で完成させよう。」

#### ◆効果①

- ・特に机を合わせるわけでもなく、グループになることもないが学び合っている。

#### ◆工夫点②

- ・先生方から「大変だね」と言われる某クラス。「図説を忘れた人は、持っている人のところへ行って教えてもらえ。」

#### ◆効果②

- ・「これも学び合いだ」と自分に言い聞かせながら、大声を張り上げてるK先生。

#### ◆工夫点③

- ・「今日の時間にこれがわかった」という達成感をもたさなくてはと振り返り。  
→やりたいんだけど、誰かよさそうな振り返りシート見せてほしい。

### 【2年次地理での取組:三宅章】

#### ◆工夫点①

- ・教科書準拠の穴埋めプリントを班の代表者に取りに来させる。3～5人グループで予習させ、黒板へ解答を記入させる。

#### ◆効果①

- ・個人で黙々と取組ながらも、適宜相談し、答えを確認しあっている。プリントの配付や回収も班の代表者が行うことで、自主的な活動を促すようにしている。

#### ◆工夫点②

- ・毎時間、振り返りシートを用意し、復習問題、本時で気づいたこと・わかったこと、自己評価を記入させ、提出させる。

#### ◆効果②

- ・振り返りシートで生徒の取り組む様子、学習や学び合いに対する意欲が確認することができる。

## **【2年次現代社会での取組:出射先生】**

### ◆工夫点①

- ・教科書準拠プリントをノートに貼らせて各自穴埋め。相談可としたが私語多し。「勉強に関わりないことをしゃべるな」と喝を入れると、激静寂となる。

### ◆効果①

- ・当たった生徒は急にパニックで、周りに相談をはじめることが多い。この時、I先生は廊下に出て、知らんぶり多し。
- ・何時間かに1回は解説中に設問し、こちらが勝手に近い席でグループ設定し、黒板に答えさせることあり。(やっと学び合っている・・・?)
- ・それなりに考えているみたい。各自取り組む部分がけっこうある。やっていないと黒板にかけず、皆に迷惑になるので、対立軸が「先生VSヤンチャ」から「まあまあの生徒多数VSヤンチャ」にシフトする。全体として「学ぶ集団」の意識はキープされる・・・か?

## **【3年次日本史での取組:河合先生】**

### ◆工夫点①

- ・授業で穴埋めプリントを配付。プリントには、風刺画等のイラストを入れるよう心がけている。

### ◆効果①

- ・イラストから考えられることを、隣近所で話し合わせることもある。目で見ることによって思考が広がる。何か1つでもわかってもらいたい。何かを手がかりに考える授業を展開したい。

### ◆工夫点②

- ・歴史上の事例の概念を示して、新聞に載せるとしたら「見出し」とするかを考えさせた。

### ◆効果②

- ・盛り上がった。

科目 2年 数学Ⅱ	担当者 下村 雅和
<p>工夫した点 現状より少しレベルの高い問題を示すと、グループでの話が活発化した。 (前時) 円の中心と半径を求める。 (本時) 円の成立条件 ・ 次の円の中心と半径を求めてみよう。</p> <p>① <math>x^2 + 2x + y^2 - 4y + 1 = 0</math> ② <math>x^2 + 3x + y^2 - 5y - 2 = 0</math> ③ <math>x^2 + 4x + y^2 - 2y + 9 = 0</math></p> <p>③は変形すると <math>(x+2)^2 + (y-1)^2 = -4</math> となり、円とならない。 ①～③までを個人思考の後、グループで説明をさせあった。 この時は、各グループで①②の流れで中心と半径を求めると、半径が…?となることに気づき、「半径が2 i じゃにないか」「半径に i があるのはおかしい」「これは i をなしにして、半径は2だ」「これはきっと下村先生の陰謀だ」などと様々な議論がなされた。 そしていくつかのグループで「これはもしかしたら円ではないんじゃないか」といったことも出てきた。 結果、標準変形後右辺が負になるとまずいんじゃないかと、生徒が気づいた。 円の成立条件を単に教えるんじゃなく、考えさせ気付かせることに成功した例です。</p>	

科目 2年 現代文	担当者 林田 耕平
<p>工夫した点 俵万智のエッセイ『情けは人の…』 ことわざの正しい意味、現代人の間違った用い方を調べ学習で。 ①ことわざの正しい意味は辞書引き、②誤った例は教科書から抜き書き③、間違えた理由については本文を踏まえての考察、と段階設定した。</p>	<p>効果のほどは？ 隣近所で和気あいあいと仲良くできていた。</p>

現代生活とかけ離れて  
しまったも 子ともたは  
どう問題意識

濡れ衣と粟  
① 正 苦勞せずに利益  
も得ることのせいで  
② Why? ⑤  
「いくら頑張りまも  
報あきなり努力しても  
タネとりのこと  
粟を泡」だと思っ  
て  
したから。

ぬかにワギ  
② ① ①  
ぬかにワギ  
⑧ Why? ④  
「ぬかにワギ」  
手たえのない  
感じだから。

狐にままれる  
③ ① ②  
「思いつけないことが  
あると、おかしな感じが  
する」  
⑩ Why? ⑨  
「狐につつまれる」  
つままれるの  
意味が現実味が  
ないから。

五十歩百歩  
④ ⑤  
「わががが違は  
あつても本質的  
には同じであること」  
⑫ Why? ⑪  
「ものすこし違は  
教室の差で  
考えようとした」

◎ 2年2, 3組                      数学Ⅱ                      (第2多目的教室)                      授業者: 下村 雅和

- 1 テーマ                      数学問題演習
- 2 ねらい                      演習問題を全員が解けるようになる
- 3 使用教材                      教科書、教科書完成ノート
- 4 おおまかな流れ
  - ① 各自の解いてきた宿題のノートを班で回覧 (3分)
  - ② グループ内での担当割の決定 (1分)
  - ③ 問題ごとの専門班に分かれ、答えのチェックと班に帰ってどのように班員に解説するかを検討 (10分)
  - ④ 元の班に戻り、専門班での検討したことをもとに、各自の担当の問題の解説を行う。  
(25分)
  - ⑤ 振り返りシートを書く (3分)
  - ⑥ 教師からの補足説明を聞く

指導のポイント

- ・数学の演習と言え、**「時間が始まるまでに、生徒に問題の解答を板書させておき、教員はその解説を行う。」**が定番ですが、生徒各自が担当の問題を責任を持って班員に解説をさせる取組です。
- ・教員は時間管理と不足分を最後に補うことをします。
- ・必ず家で問題を解いてきておくことが前提です。



感想

- ・生徒は自分たちの言葉で班員に伝えようとしています。
- ・教員が解説をし、生徒がノートをとる形態より、主体的な学習が展開されている。
- ・慣れてくると、教員の指示がなくても、スムーズに学習展開をしている。
- ・うまく説明できた生徒は表情に満足感が出ている。



# 学び合い実践報告

## 数学②

科 目	1年	数学 I	数学A	担当者	荒金 徹
工夫した点	各グループで担当する演習問題の解答のまとめ用紙を提出させ、全問の解答を印刷、配布し全員で共有し、振り返りをした。各班でそれぞれ工夫した解答が得られた。			効 果	各班、およびその班のメンバーの責任感が向上した。

科 目	1年	数学 I		担当者	難波 泰史
工夫した点	基礎コースで小テストを全員合格するまで実施した。小テスト後グループを作り、合格者は不合格者に教えるようにした。約50回行い、全員合格できた。			効 果	連帯責任という形だったので、教える方も教わる方も熱心に取り組めたと思う。

科 目	2年	数学 II $\alpha$		担当者	神田 拓郎
工夫した点	演習問題をそれぞれの班に当て発表させた。			効 果	一人一人に役割を与えたので、責任をもって取り組めて、発表者も解説を頑張っていた。

科 目	2年	数学B		担当者	守安 信之
工夫した点	定期考査前のテスト勉強のとき限定で実施した。			効 果	本当に分からないところをお互いに聞きあうので他の人のわからないところを知ることができていた。

科 目	3年	数学 II $\alpha$		担当者	西岡 正人
工夫した点	問題演習が授業の主な内容で約30分を周りと考える時間にし、残りの時間で生徒の板書を解答解説した。			効 果	演習を自発的に取り組んでいた。一斉授業の時に集中して受けていた。(メリハリができた)

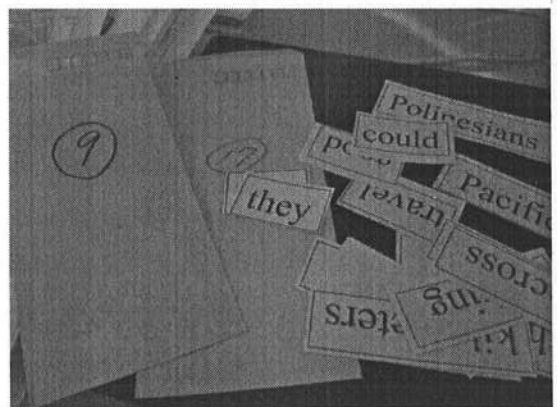
◎ 3年生 2・3組 異文化理解 (3年HR教室) 授業者：岡野 吉男

- 1 テーマ 諸外国の事情について書かれた英文を読んで自国との違いを学ぶ
- 2 ねらい やや難易度の高い英文に接し、協力することにより読解を深める
- 3 使用教材 ① 教科書 「Lingua-Land English Course II Revised Edition」  
② 補助プリント、英文抜粋カード (抜粋)
- 4 おおまかな流れ
  - ① 本日のテーマ、英文の内容について概略を伝える (日本語)
  - ② 手順の確認 (辞書、担当部分、係)
  - ③ 教材配布 (グループ)
  - ④ グループで読解、訳を考える
  - ⑤ 各班担当部分ごとの内容発表 → 全体の概要理解 (クラス)
  - ⑥ 英文全体を配布 (各班で作った訳は後日結合して配布)

◆英語力が高くなく、語彙も乏しい生徒のクラスだが、学び合い形式で英字新聞などの難易度の高い英文に接しても、グループで理解を深め情報共有をしながら読み進めることができ、自信がつく。◆本格的な英文読解にはつながらないが、「英字新聞を読んだ」という自信がつき、検定教科書標準でない幅広い海外トピックに接することができる。◆生徒の理解が間違っていたときの訂正はあまり出来ないで、授業中はかなり大まかな理解になる。

**方法**

- 1 やや読み易い、話題の明確な英字新聞記事を選ぶ。拡大コピーして読みやすくし、グループの数だけ分割して順番に番号をつけておく。
  - 2 各グループに英文の紙片とメモ・翻訳用の紙を配布する。
  - 3 グループで辞書を使いながら日本語にしていく。(記録用紙に記入)
  - 4 グループの代表者が、順番に内容を発表し、指導者が内容補足する。
  - 5 オリジナルの英文原稿を配布し、指導者が日本語解説する。
  - 6 グループで作成した日本語訳を回収する。(後日生徒訳と翻訳例を併記したものを配布)
- ※英文の負担が大きい場合には、文単位で封筒に入れて配布するパターンもある。



◎ 3年全クラス      ライティング      (各HR教室)      授業者：岡本 正樹

- 1 テーマ      単元まとめの完全英作文部分を学び合いでお互いに確認する
- 2 ねらい      適切な表現を様々な角度から検討した英文に仕上げる
- 3 使用教材      ① 教科書 「PowWow Writing Course」      ② 補助プリント (抜粋)
- 4 おおまかな流れ
  - ① 前時の復習, 小テスト (重要例文)
  - ② 基礎文法事項の確認
  - ③ 実践英作文 個人→ペア確認→4人で確認→板書→お互いに添削→教員添削
  - ④ プリントに清書する
  - ⑤ まとめ, 次回の予告

◆「たびたん」などで語彙は増えてきたものの、どのような単語や構文を採用したらいいのかわかっていない。実際に日本語表現を英語化するには文法知識も総動員しなければならず、一人だと全く書けない生徒も多いが、協同作業の段階を入れることにより学習補助となるのはメリット。◆生徒の解答を生徒に添削させるので、文法力も必要だし自分で考えるよい機会となる。◆生徒の解答添削レベルは低いので、思考の時間は少し確保できるようにしても、結局かなり教員の説明は必要。◆技能系の科目はインプット・アウトプット量も必要なので、考える時間を確保すると技能向上にはつながらない。語学では毎回本格の協同スタイルはしない方がいい。

**方法**

- 1 左ページの基礎事項や例文を確認したのち、簡単な確認問題を解く (作業は個人)
  - 教員による解答確認
- 2 完全英作文部分のプリント配布 (ヒントが入っており、考える部分はコントロールされているもの)
- 3 個人で考える (10分)
- 4 横のペアでアイデアを出し合って解答修正, そののち縦のペアで再調整
- 5 全てのペアに必ず一文を割り当てて、考えた解答を板書させる。
- 6 別のペアを指定し、板書解答を検討 (添削) させる。(OKなら○, 疑問部分などは?などを書かせる)
- 7 クラス全体の意見を聞きながら、指導者による解答作業
- 8 完成した英文を書き取らせ、プリントに清書させる

Lesson 24 パーティーに来ませんか (教科書 pp.64-65)

CLASS: \_\_\_\_\_ NAME: \_\_\_\_\_ DATE: \_\_\_\_\_

**EXERCISES** 先生のヒントを聞いて、次の日本語を英語におおしなさい。

1. 私たちは今週末にハロウィーンパーティーを開きます。(P-A)
2. 絵美はパーティーに来るのですか。(P-A)
3. 父が来週バンコク(Bangkok)から帰ってきます。(P-A)
4. お客様たちがいつ来るか彼女に教えてもらえますか。(P-B)
5. 私は招待状をどこに送ったらいいか彼に聞いてみます。(P-B)
6. 和典は私にパーティーに来られないと言いました。(P-B)

**清書** 解答例を清書しなさい。

7. 私たちは今週末にハロウィーンパーティーを開きます。(P-A)
8. 絵美はパーティーに来るのですか。(P-A)
9. 父が来週バンコク(Bangkok)から帰ってきます。(P-A)
10. お客様たちがいつ来るか彼女に教えてもらえますか。(P-B)
11. 私は招待状をどこに送ったらいいか彼に聞いてみます。(P-B)
12. 和典は私にパーティーに来られないと言いました。(P-B)



科目 2年 地理B	担当者 三宅 章夫
<p>工夫した点 指導書を元につくった穴埋めプリント。 「最初に各自で調べてグループでわからないところを確認しよう。」</p> <p>↓</p> <p>個々への発問をグループに向けて。</p> <p>↓</p> <p>問題にチャレンジ(穴埋め・CT過去問など)</p>	<p>効果のほどは？</p> <p>…各自で黙々と取り組むクラスも最終的にはお互いに確認をしている。</p> <p>…みんなで考える雰囲気になる。</p> <p>…分かる喜び。分からないところも確認しグループで考えさせることも。</p>

科目 3年 フードデザイン	担当者 土谷 三枝子
<p>工夫した点 調理実習ではパイロット方式を導入している。班の代表者を指導し、班の生徒は代表者から教えてもらう。</p>	<p>効果のほどは？</p> <p>不十分なところもあるが、いろいろな工夫や発見を自分たちのこととして学習できている。説明が少なくても失敗が少ない。</p>

[3] 第4回 調理実習の計画と洋風献立の基礎 NO 8

学習テーマ 1人が1品を調理の手順を考えて能率的に作る。

1. 献立  
 (ピザ 小麦粉 式餅物) (コンソメジュリアン (コンソメパイザンヌ・コンソメコルベール) コンビネーションサラダ (オレンジゼリー (オレンジ・パイザ・パルアガー) 塩・ナマ味

2. 実習のねらい  
 スープストック → (魚・野菜を煮込む) 塩・ナマ味  
 コンソメスープの作り方 越えまい!!  
 ピザ生地 (ドゥ) の作り方  
 フレンチソースの作り方  
 パルアガーを使ったゼリーの作り方

材料・分量・作り方と手順を工夫しよう。(冷たい料理と暖かい料理)

3. 材料と分量

①ピザ (4~5人分) 1 小麦粉に (塩) (砂糖) (ドライイースト) を加えてよく混ぜる。  
 薄力粉 200g  
 ドライイースト 3g  
 塩 3g  
 砂糖 10g  
 湯 (40℃) 100ml  
 バター 15g  
 具 チーズ 150g  
 ベーコン 50g  
 ピーマン 30g  
 その他  
 トマトソース 適量

2 湯を加えて、よくこねバターを混ぜ込む。  
 3 生地をやすませる。(20~10分)  
 4 具をきる。  
 5 生地を4つに切り分け (×印) でのぼし広げ  
 トマトソースを塗り、具を飾る。  
 6 オープンに入れ、(150)℃で(15)分焼く。

②コンソメスープ 1人分  
 スープストック 150ml  
 パセリ 適量  
 にんじん 5g  
 玉ねぎ 10g  
 塩・コショウ 少々

1 水1人200mlに固形スープの素1/2個を煮溶かし、スープストックを作る。  
 2 野菜を同じ大きさに切り、スープで煮込む。  
 3 パセリをみじん切りして、水にさらす。  
 4 塩コショウで味を調え、盛りつけてパセリを散らす。

③コンビネーションサラダ 1人分  
 レタス 20g  
 トマト 30g  
 きゅうり 30g  
 貝割れ大根 1g  
 酢 8g  
 サラダ油 8g  
 塩コショウ 少々  
 マスタード 少々

1 フレンチドレッシングを作る。  
 (酢・サラダ油・塩コショウ・マスタード)  
 2 野菜を適宜切り工夫して盛りつける

↑  
見学よ!!

④オレンジゼリー (3個分)  
 パルアガー 6g  
 砂糖 30g  
 水 150ml  
 オレンジジュース 150ml

1 砂糖とパルアガーをよく混ぜておく。  
 2 鍋に水を入れ1を少しずつ加えてかき混ぜ弱火でゆつくり煮溶かす。(沸騰 1分)  
 3 火を止めてオレンジジュースとレモン汁を加える。  
 4 型に入れて冷やし固める。

4 私の工夫 気づき  
 フレンチドレッシングがとてよかったです。  
 貝割りがよか、酢、きゅうり、食塩がまじってよかったです。  
 ピザにはもともと具をのせたからです。

5 学び合いで教えたこと  
 野菜の配置がよかった。  
 野菜の切りかた。  
 ピーマンの切り方。  
 湯の温度。  
 湯の配置がよかった。

6 盛りつけ配膳図

7 反省と感想  
 最初はセキアミの上手いかながらだけ見たいからとどいてくれた。家で作ってあげたいです。本当に全部おいしかったです。

新油壺 } 材料  
 新水壺 } 材料  
 コショウ } 材料  
 (塩) } 材料

◎ 1年次選択者                      美術 I                      (美術教室)                      授業者：藤村 宏一

- 1 テーマ                      水墨画に挑戦
- 2 ねらい                      水墨画を描くことで日本文化の良さを味わう
- 3 使用教材                      教科書、プリント
- 4 おおまかな流れ

水墨画の5課題を10時間で制作する。1課題は授業時間2時間で完成させる。

- ① 本時の課題とチェックポイント（失敗例）の確認
- ② 個人練習 1
- ③ チェックポイントの相互評価
- ④ 個人練習 2
- ⑤ 色紙に清書
- ⑥ まとめ、次回の予告

※①から⑥を5回繰り返し行う。

◆指導のポイント

- ・水墨画は西洋画等に比べ、短時間で制作できる。生徒は墨を使用した経験があり取り組みやすい。制作にあたって生徒が陥りやすい失敗点と水墨画の特徴である濃淡や構図（余白の美）をチェックポイントとして示した。このポイントを相互チェックすることで、短時間で全員が誤りを修正した後、よりよい作品を完成させることを目指した。日本文化を体験から味わわせたい。
- ・相互チェックについては、より具体的な表現で相手に伝えることを指示した。造形的なよさや美しさを感じ、自分の価値意識をもって批評し合う力と文章で考えを整理することで、自己の表現において発想や構想の能力を高めることにつなげたい。
- ・前時の作品に評価と課題を記入して次時に返却し、優秀作品は軸装して紹介した。長時間をかけて取組む作品制作に比べ、個人での振り返りが次作品にフィードバックしやすい。

◆感想

- ・短時間で完成でき、墨による一発勝負は緊張感も伴って生徒の取組はよい。毎課題が同じタイムテーブルで進行するため、生徒は授業の流れがわかり、落ち着いて制作している。チェックプリントに書くコメントについて、批評レベルに内容を高めることは難しい。生徒相互でより具体的な見方や表現ができる力を身につけさせる方法について考える必要がある。